

令和4年度 大阪府立堺支援学校 第3回運営協議会 議事録

校名	府立 堺支援学校
(准)校長名	校長 西浦由夏、准校長 三宅康寛

開催日時	令和5年2月7日(火)10時～11時30分
開催場所	本校 校長室
出席者(委員)	長谷川委員長、井辻勝美委員、但馬秀樹委員、吉野由利委員、久保田征夫委員、児玉和夫委員
出席者(学校)	西浦由夏校長、三宅康寛准校長、橋本真希教頭、西山三穂子教頭、岩田博昭分校教頭、黒田健司事務部長、木曾幸葉首席、黒川仰主席、井上部主事、毛利規子分校首席、西出進路指導部長
傍聴者	なし
協議資料	①令和4年度学校教育自己診断課題と対応(本校・分校) ②令和4年度学校経営計画及び学校評価(本校・分校 小中学部)(本校 高等部) ③令和5年度学校経営計画(案) (本校・分校 小中学部)(本校 高等部) ④パッケージ研修 報告 ⑤ロボットSota活用報告
備考	

議題等(次第順)

I 報告及び協議

- (1) 令和4年度学校教育自己診断課題と対応(本校・分校)
- (2) 令和4年度学校経営計画及び学校評価(本校・分校 小中学部)(本校 高等部)
- (3) 令和5年度学校経営計画(案) (本校・分校 小中学部)(本校 高等部)
- (4) パッケージ研修 報告(本校)
- (5) ロボットSota活用報告(本校)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

I 協議

- (1) 令和4年度学校教育自己診断課題と対応(本校・分校)
  - (意見)分掌や人事についての課題は毎年出てくる。今後も教職員のポジティブな希望を大切にしていってことで意欲向上へとつなげていってほしい。
  - (意見)備品や教材の共有については、これまで以上に学部間のコミュニケーションをとることで学校全体としての把握が可能になると考える。
  - (質問)小中高それぞれの学部への引継ぎ体制はどうなっているのか。
    - 個別の教育支援計画の活用はもちろんであるが、田辺大根の栽培・収穫の取り組みやポッチャ体験などの授業交流の実施、引継ぎの会をの定期開催など、普段からの学部間のコミュニケーションも大切にしている。卒業生への支援も含めた、継続した教育活動を行うようにしている。
- (2) 令和4年度学校経営計画及び学校評価(本校・分校 小中学部)(本校 高等部)
  - (質問)働き方改革において、支援学校ならではの問題はあるのか。
    - 給食指導の関係で教職員の休憩時間を確保するための工夫が必須である。残業時間についても改善してきているが、引き続き削減への取り組みを行っていく。
  - (質問)外国語教育は行っているのか。
    - T-NETの活用でネイティブティーチャーの授業を設定している。回数は多くはないが、継続して取り組むことで積み上げていく。
- (3) 令和5年度学校経営計画(案) (本校・分校 小中学部)(本校 高等部)
  - (意見)地域との連携については、今後も引き続き行事などを通して強化していきたい。銭塚古墳のPRなども共にできればと考える。
  - (意見)いつ大きな地震が起こってもおかしくないことを念頭に防災に関する取り組みを進めていってほしい。

議案(2)(3)について承認決議。承認6名反対0名 (2)(3)ともに承認された。

II 報告

- (4) パッケージ研修 報告(本校)
  - (意見)これまでの長年の教材研究の積み上げの上にICT機器の活用があることがよくわかった。今後、活用の幅がもっと広がることを期待する。
- (5) ロボットSota活用報告(本校)
  - (意見)コロナ禍でできなかったことも多いが、このように進んだ分野もあったことを知ることができた。
  - (意見)学校内でのネット環境に左右される取り組みであるので、そうしたハード面の整備も大切である。